

投資事業評価調書（継続）

部課室名	道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 河南嘉彦 (安倍 茂)	内線	4362 (4374)
------	-------	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	道路事業	事業名	事業区間	総事業費	約 2 3 億円	
		国道373号 円光寺BP	佐用郡上月町 円光寺～下上月	内用地補償費	約 5 億円	
所在地			事業採択年度	着工年度	完成予定年度	進捗率
佐用郡上月町円光寺～下上月			H 5	H 5	H 1 9	約 4 7 %
事業目的				事業内容		
道路線形の改良及び交通安全の確保 ・トンネル等による線形不良区間の解消を目的とし、事故多発、落石、凍結等の危険性の改善・解消に寄与する。 ・歩道設置による快適で安全な歩行者空間の確保。				道路改築（特殊改良一種） L = 1 , 2 0 0 m W = 6.5(14.0)m : 2 車線 + 両側歩道 円光寺トンネル 155m、円光寺橋 75m		
進捗状況	線形不良区間の解消・交通安全の確保を図るため、H.5 年度から特殊改良一種事業に着手したが、2つの遺跡（円光寺遺跡、平瀬遺跡）の埋蔵文化財の調査に約3ヶ年（H.10～H.12）を要した。また、用地買収はH.6年度から開始してH.10年度末には94%まで進捗したが、トンネル両坑口部については難航し、土地収用法の手続き（H.14.10.1 事業認定告示）を行っている。 現在は、円光寺橋の下部工工事等を実施しており、並行して土地収用法の手続きを進め、その後、円光寺トンネルの工事に着手し、H.19年度の完了を目指す。					
評価視点						
(1)必要性 安全・安心	・曲線半径の小さい屈曲部2箇所を解消するなど道路線形を改良し、視距を十分に確保し、安全な走行を図る。 ・事業区間内における事故はH.4～H.13年の間に計52回（人身23件、物損29件）起きており、これらの減少、改善に寄与する。 ・事業区間内には道路防災点検による落石危険箇所があり、抜本的な対策が難しいため、この区間についてはトンネルにより短絡する。 （過去3ヶ年の落石、H.11：1回、H.12：2回、H.13：1回） ・道路が北側斜面に接するため、冬季の凍結が頻繁に起こっている区間を短絡する。					
地域の活性化	・本区間は歩道が未整備な箇所があり、通学路でもあることから歩道の整備による歩行者等の安全性を確保する。 ・国道373号は西播磨地域の生活や産業を支える南北方向の幹線道路であり、交通難所の解消により地域間交流等が促進される。					
(2)有効性・効率性	・トンネル及び橋梁を建設するため事業費は大きいですが、未買収地の収用による取得に目途がついていることから、早期完了に向けた工事の実施が可能。 ・費用便益比 B/C = 1.6					
(3)環境適合性	・切土法面について法面緑化による自然植生の回復に努める等、環境の保全に配慮する。					
(4)優先性	・埋文調査及び用地買収が難航したことにより整備が遅れているが、道路改築の必要性は何ら変わっておらず、早急な整備が必要である。					
評価 の 結果	継続妥当	左 の 理 由	上記理由により継続が妥当である。			